



上山小学校「風のたより」

令和6年5月24日（金） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する

思うようにはいきませんね（-_-）



先日、佐賀の親戚の家に叔父の17回忌法要に行きました。最初は17回忌までやるのかと不謹慎な思いが少しだけあったのですが、17年ぶりに会う従弟や初めての親戚？に会えたことは、とても素適な機会（ご縁）でした。宗教の慣習ではありますが、絶やさないようにするのも私たち大人の役目なのかなと思直しました。



その佐賀の親戚のお宅に「氣心腹己人」（上写真）の掛物がありました。「気は長く、心は丸く、腹立てず、人は大きく」と読むそうです。もうすでにご存じの方が多いとは思いますが、我が身を振り返るとあと3回ぐらい生まれ変わらなきゃいけないなと思いました。特に「気は長く」と「腹立てず」は自分自身の弱点です。年を取るにつれてできるようになっていくものと思いましたが、年を取るにつれてできないことが増えることも考えられます。子どもの前に立つ大人として、もう一度気を引き締めて向き合いたいと思います。しかし、思うようにはいきませんよねえ～



のびろ、朝顔、まっすぐに、
納屋のひさしがもう近い。

それでもお日さま
こいしゅうて、
きょうも一寸またのびる。

西もひがしもみんなみて、
さがしあぐねてかながえる。

垣がひくうて朝顔は、
どこ入すがろとさがしてる。

金子みすゞ

朝顔のつる

あとはお天気頼み！

「玉入れ」は運動会の定番中の定番です。以前は親子や祖父母との混合チームで争ったものですが、今では、「チェッコリダンス」をしながらの競技に様変わりしています。1年生と6年生がチェッコリダンスを踊ります。その練習の様子を見ているだけで、目じりが下がります。一生懸命に1年生の指導をしながら踊る6年生。ぶかぶかの体操服がようやく似合い始めた1年生の踊る姿は必見です。当該学年の保護者ではないという方も、どうぞよ〜くご覧ください。目じりを押さえながら・・・ 加えて、指導をしている先生方の様子も見てほしかったのですが(*^*)。



考えて行動する

右の写真は、金曜日放課後の職員玄関の様子です。金管バンドの子どもたちが音楽室で練習しているのですが、きちんと靴をそろえて音楽室に向かっています。自分たちの演奏がうまくなればそれでいいというものではありません。その前に人間として必要な心構えや常識を育てていただいているものと感謝しています。ソフトボールクラブも、バスケットボールクラブもサッカークラブも同じようなスタンスでご指導いただ



いていきます。前号の「九ず」とならぬよう、本来の目的を達成するための指標(目標)をクリアするために「考えて行動する」ことを学校でも指導してまいります。

<上山小学校の児童に身に付けたいこと : 自立と自律>

自立と自律、様々な例えがあるようですが・・・

3 + 5 = ◇を解決することが「自立」で、○ + ▲ = 8を解決することが「自律」

上記の計算に限らず、柔軟で、創造的な思考のできる子どもたちを育てていきます。

☆上山小のHPをご覧ください。学校だよりの2次元コードをご利用ください。